

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年8月29日(2013.8.29)

【公開番号】特開2012-41411(P2012-41411A)

【公開日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2012-009

【出願番号】特願2010-182408(P2010-182408)

【国際特許分類】

C 08 G 18/42 (2006.01)

C 08 L 75/04 (2006.01)

【F I】

C 08 G 18/42 Z

C 08 L 75/04

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月17日(2013.7.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

ウレタンプレポリマー(A)以外のイソシアネート基含有ウレタンプレポリマー(C)は、有機イソシアネート化合物(c)と活性水素含有化合物(d)とを活性水素(基)に対してイソシアネート基過剰の条件で、具体的には、有機イソシアネート化合物(c)と活性水素含有化合物(d)とを、原料のイソシアネート基 / 活性水素(基)の反応モル比が 1.2 ~ 10 / 1.0 、好ましくは 1.5 ~ 5.0 / 1.0 となる範囲で、反応触媒や有機溶剤の存在下あるいは不存在下に、 50 ~ 100 で反応させて得られるものである。前記有機イソシアネート化合物(c)としては、前述のウレタンプレポリマー(A)の合成において挙げた脂肪族系ジイソシアネート化合物や芳香族系ポリイソシアネート化合物と同様の化合物が挙げられ、活性水素含有化合物(d)としては公知のポリオキシアルキレン系ポリオール、ポリエステルポリオール、ポリカーボネートポリオールなどの高分子のポリオールが挙げられる。このうち得られるイソシアネート基含有ウレタンプレポリマー(C)が低粘度で、ゴム弹性物性や接着性が良好な点でポリオキシアルキレン系ポリオールが、さらにポリオキシプロピレンポリオールが好ましいものとして挙げられる。